

医療・介護現場に県の支援を

医労連が要請

島根県医療労働連合会（県医労連：森山篤士委員長）は、



要請書を手渡す森山委員長（左端）ら

12日、県に対して新型コロナウイルスに関わる医療・介護現場からの要請を行いました。日本共産党尾村利成・大田陽介両県議、橋祥朗・吉儀敬子・田中肇の日本共産党市議団、吉井安見出雲市議候補が同席しました。

介護福祉士の森山委員長は「介護、医療の現場は、コロナがなくてもギリギリの人員で対応している。さらに衛生材料の不足で安心・安全の医療・介護に困難を極めている。レントゲン技師は「患者さん

のCT検査をしている。自分が感染し、家族に移さないかストレスをかかえて仕事をしている」と、発言しました。要請の内容は、マスク、ガウンなど感染防護具の不足に緊急対応すること、感染と隣り合わせで医療・介護に従事していることに対する危険手当の支給を国に要請すること等7項目です。

県医療政策課の奥原徹課長は「ベットの確保、防護具や医療・介護人材の確保に向けて尽力する」と答弁しました。

「コロナ感染症に係わる連絡会」に参加して

橋祥朗

5月15日、22日と「新型コロナウイルス感染症に係わる連絡会」が行われました。議長、各派代表議員、市から関係部長、副教育長が参加、取り組み報告、意見交換が行われました。

「緊急事態宣言」は、14日に島根県などで「宣言」が解

除されました。それに伴い、松江市でも、学校の再開、市民生活や経済活動の復活に向けて活動が始まりましたが、市民は様々な不安の中で生活しています。

国、県、松江市も支援策を打ち出していますが、これからの様々な課題も見えてきました。①感染も油断できず、

第二派、第三派の備えとしてPCR検査、医療体制の備え

が重要なこと。②打撃を受けた観光、飲食、製造業などの

事業者にとって、国の「持続化給付金」制度は、収入の5

割以上の減が対象とされ、2

割、3割減は対象外とされている、「雇用調整助成金」が遅れている、「政策金融公庫」の借り入れも審査も難しく一カ月以上も先となる。③収入減の市民や学生への支援も十分、④「三密」を避けること

しながらも、学校では三五人学級でも机を離すこともままならない。

橋祥朗市議は、①給付金等の早期の支給、②感染予防体制の維持・拡大、③学校での三密を避ける少人数授業、④

事業者支援の対象拡大、⑤事業者に限定せず一般家庭の水

道料金減免など要望しました。

橋よしあき、吉儀けい子、田中はじめの共産党市議団は、4月30日、松浦正敬市長に対して、新型コロナウイルス感染症対策に関する8分野47項目の確認事項を提出していましたが、12日、市教委に関する9項目の対策について、各課から現状の聞き取りと意見交換を行いました。

市社保協 2千名の署名添えて

国保引き下げ陳情

19日、市社会保障推進協議会（会長：石田忍）は、市長に対して2,272名の署名を添えて「高すぎる国民健康保険料の引き下げ



署名を水市民部長に渡す石田会長（左側）

を求める陳情」を行い、橋祥朗・吉儀敬子市議が同席しました。

署名の取り組みについて、半年で集めた2千名以上の署名について、スーパード

で1時間の間に100名を超える署名が集まり、国保料の引き下げは市民の切実な要望であることを、板垣治之社保協事務局長が報告しました。

石田会長は、国保料引き下げのため①国に対して国保会計に1兆円の投入を要請すること ②市独自に「均等割」「平等割」を廃止することの陳情項目に

ついて、特に市独自の施策は、市長の政治姿勢に関する問題であることを強調しました。

署名を受け取った水研二市民部長は「市長の政治判断であり、市長に伝える」と答弁しました。

懇談の中で、新型コロナウイルス感染症への対応について「国保料の免除は、専決で今月中に実施。6月の第1回保険料納期のお知らせに合わせて周知する。傷病手当の支給は、給与収入の本人が対象となる（事業主・フリーランスは対象外）」ことが判明しました。

市教委のコロナ対策について、党市議団が現状確認と意見交換実施

想定を超えた事態 市民の声を聞き取る工夫を

橋よしあき、吉儀けい子、田中はじめの共産党市議団は、4月30日、松浦正敬市長に対して、新型コロナウイルス感染症対策に関する8分野47項目の確認事項を提出していましたが、12日、市教委に関する9項目の対策について、各課から現状の聞き取りと意見交換を行いました。

教室へのエアコン設置 夏休みに間に合いました！

休校による学力への影響

について、学校教育課から「①紙ベースの宿題を出してきたが、学校ごとに次の課題の工夫が始まっている。②授業時間数不足は、夏休みの短縮等で補う。しかし、時間合わせの土日授業等、無理な対応は考えていない。学習内容の工夫を行う」等報告されました。

幸い松江市では、全ての普通教室にエアコン設置が間に合いました。夏休みの授業も、換気に注意しながら、涼しい教室で行うことができます。

「子ども達が学校に登校できない」という、だれも考えたことのない異常事態。各学校・園も市教委も、日々刻々変わる状況の下、「子ども達に適切な対応を、できるだけ速く」と手探りを続けています。

共産党市議団は、その努力に敬意を表しつつ、「異常事態に対応すると同時に、市民の声を聞き取る工夫を更に進めてほしい」と要望しました。



橋祥朗市議員